



弘陵造船航空会

## 弘陵造船航空会会則

### 第1章 会の名称および所在

(名称)

1. 本会は、弘陵造船航空会と称する。

(所在)

2. 本会は、次の所在地に置く。

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学 海洋空間のシステムデザイン教室内

### 第2章 目的および活動

(目的)

3. 本会は、会員相互の親睦と交流をはかると共に、母校並びに母校に関連した産業の発展に寄与することを目的とする。

(活動)

4. 本会は、3. の目的を達成するため、次の活動を行う。

- ① 総会、役員会及びクラス幹事会の開催
- ② 会報及び会員名簿の発行
- ③ 褒賞及び教室支援
- ④ 情報サービス
- ⑤ その他、本会の目的を達成するために必要な活動

### 第3章 会員

(会員)

5. 本会の会員は、別に定めるところの学科等の卒業生及びこれらに関する大学院の修了者、並びに、これらに関する専任および退任した教員とする。

- (2) 前項のほか、入会を希望し、役員会において承認された者を会員とする。

- (3) なお学部卒業後本会会員となる学部生は学生会員とする。

(会費)

6. 会員は、別に定める会費を納めるものとする。

- (2) 会費の額は役員会の審議を経て、総会で承認するものとする。

- (3) なお学生会員は入学時、または学部生時に、別に定める会費を納めるものとする。

## 第4章 役員

### (役員を設置)

7. 本会に、会を円滑に運営するため、次の役員を置く。

理事 6名以内

監事 2名以内

- (2) 役員は、会員の中から選出する。
- (3) 理事のうち1名を会長、1名を副会長とする。
- (4) 理事のうち3名以内の総務担当理事を置く。
- (5) 理事に教室代表理事 1名を置く。

### (役員任期)

8. 役員任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。

### (役員職務)

9. 役員は役員会を構成し、本会の目的を達成するために別に定める職務を行う。

### (相談役)

10. 本会に、役員ほかに相談役若干名を置く。

- (2) 相談役は、会の運営に多大な功績のあった者の中から、役員会で推薦する。

## 第5章 総会、役員会、クラス幹事会

### (総会)

11. 定時総会は、会長が招集し毎年1回開催する。

- (2) 臨時総会は、必要に応じて役員会の決議を経て会長が招集する。
- (3) 以下の議案については総会の承認を必要とする。

- ・活動報告および決算
- ・活動計画および予算
- ・役員の変更
- ・会則の変更
- ・合併及び解散の承認
- ・その他本会の重要案件

### (役員会)

12. 本会に、役員及び相談役をもって構成する役員会を置き、会務を円滑に推進するため、所要事項の審議、決議を行う。

- (2) 役員会は、会長の招集に応じて適宜開催する。

### (クラス幹事会)

13. 各クラスは、卒業又は修了時に、学部卒業年次毎のクラスから2名以上のクラス幹事を選出するものとする。

- (2) 本会の活動の推進に資するため、役員及びクラス幹事で構成されるクラス幹事会を、適宜開催する。

## 第6章 会計

### (会計)

14. 本会の会計は、年会費、基金、寄付金及び広告費等でまかなう。
- (2) 会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。
  - (3) 役員会に会計管理を担当する理事をおく。
  - (4) 会計計算書類は、監事の監査を経て、総会の承認を得る。
  - (5) 本会の運営を日常的に係る役員の職務に応じて別に定める手当を支給することができる。

## 第7章 会則の変更、合併及び解散

### (会則の変更)

15. この会則の変更は、役員会、クラス幹事会の議を経て、総会において決議する。
- (2) この会則の範囲内において、詳細事項を内規として役員会で定めることができる。

### (合併及び解散)

16. 本会は、総会の決議により、他の法人あるいは団体と合併若しくは解散することができるものとする。

## 附則

1. 本会の設立日は昭和46年5月23日とする。

2. 改定履歴

昭和46年5月23日制定  
昭和49年5月19日改定  
昭和51年5月22日改定  
昭和54年5月20日改定  
昭和55年5月11日改定  
昭和57年5月23日改定  
昭和63年5月15日改定  
平成10年5月16日改定  
平成18年5月20日改定  
平成22年5月22日改定  
平成23年5月21日改定  
平成25年5月18日改定  
平成27年5月23日改定  
平成29年5月27日改定

## 備考：

弘陵造船航空会の「弘陵」には、横浜国立大学工学部発祥の地である旧弘明寺キャンパスとその丘陵地帯、という意味が込められている。また同窓会の母体は造船工学科だがそこから独立した航空工学科が一時期存在し、その卒業生も当同窓会に合流したことから「造船航空会」となった。